

ひきこもりでお悩みの皆様へ

「ひきこもり」とは？

何かのきっかけで仕事や学校に行けず、家族以外の人との交流をほとんどせず、6カ月以上自宅で生活をしている状態のことを言います。

相談窓口

淡路市では、「ひきこもり」に関する相談窓口があります。どのようなことでも結構ですので、あなたのタイムミングで、お気軽にお聞かせください。また、臨床心理士の方との個別相談も実施しています。

■相談相手

臨床心理士 鎌谷安さん かまたに

■日時

毎月第3火曜日

14時から17時(一人50分)

■申し込み・問い合わせ

電話で事前予約(先着順)

健康福祉部地域福祉課

☎64-2510

「地域ぐるみで考える」

ひきこもりサポーター講座

「ひきこもりについて」「地域ぐるみでかわるために」等のテキストを活用して45分程度の講座を開催しています。

「ひきこもり」に関する課題を地域ぐるみで考えることは、すべての人の暮らしの安心につながります。ひきこもりについて、偏見や差別意識を払拭し、正しく理解し共感的に受け止めることを共有できる機会となるようにすすめています。

受講修了者には、「ひきこもりサポーターの証」バッジをお渡しします。



淡路市
淡路市社会福祉協議会
淡路市人権教育研究協議会
淡路市ひきこもり対策推進会議

淡路島冒険の森へ

居場所づくり

心と体の癒しに！

「自分さがしの森」に

きてみませんか？

偶数月の第1金曜日

10時から14時

【次回】12月3日(金)

あそこに行けば誰かに会える！ここなら自分らしく過ごせる！そんな場所をめざしています。

■申し込み・問い合わせ

健康福祉部地域福祉課

☎64-2510

○淡路市社会福祉協議会

地域支えあいセンター

津名 ☎62-5214

岩屋 ☎72-0084

北淡 ☎82-0922

一宮 ☎85-2040

東浦 ☎74-4877

私たちの願い

淡路市ひきこもり対策推進会議

会長 山添 繁

「ひきこもる」ことはあくまで状態像であり、そのこと自体は良いことでも悪いことでもありません。

「ひきこもり」に至った原因は人それぞれだと思います。世間の無理解や、迷惑をかけたくないという意識から家族だけで抱え込んでいませんか。私たちは「ひきこもり」に対して市民の皆様

に正しく理解していただくため、サポーターを増やす取組を進めています。「困ってんねん」と気軽に声をあげられる社会をめざして。2016年「教育機会確保法」が制定され、不登校や病気などで中学校を「形式卒業」した人でも、再度、夜間中学校で「学び直す」機会が保障されるようになりました。兵庫県でも、既存の神戸市2校、尼崎市1

校に加え、姫路市での開校が決定されています。途中で挫折してもやり直すことができるのです。

私たちは「ひきこもり」の人が「甘えている」「なまけている」とは考えていません。生きづらさを抱えており、その生きづらさが軽減・改善したのは、「安心できる居場所が見つかったときだ」という声もたくさん聞いています。

また、「働きたいけど、ブランクがあつてどうしていいかわからない」という人もいると思います。

私たちは長期ブランクがあつても、安心してチャレンジできる受け入れ体制(居場所)づくりに向けて、行政、民間を問わずつながりをつくり、包括的、さらには広域的に支援していく仕組みを構築していきます。どうか私たちに相談してください。必ず道は開けます。